

あなたのごみの出し方は大丈夫？ ごみの出し方を再確認

夏は、水分の多い生ごみや生い茂った草木の処理で、ごみが増える時期です。再度、ごみの出し方を確認し、適切に処理をしましょう。



◇水分の多い生ごみ等は十分に水切りをして減量化を！

水分の多い生ごみ等は、十分に水切りをしてから指定袋に入れて出してください。

また、ジュースなどのペットボトルやビン・カンは、水洗いしてから指定袋に入れて出してください。

◇ペットボトルの分別方法が



割れたビン・ガラスは新聞等に入れて指定袋に入れましょう

変わりました

ペットボトルの分別方法が変わりました。ペットボトルのふたやラベルもリサイクルしますので、ペットボトルと一緒に出してください。

分別方法

①中をカラにして水洗いする
②軽く足で踏みつぶして、かさを減らす
③ふたやラベルもペットボトルと一緒に指定袋に入れる

※ふたやラベルは、付けたままでも構いません

◇中身の見えない二重袋での排出は禁止！

最近、割れたビン・ガラスを排出する際に、肥料袋のような中身の見えない袋を使用し、二重袋で出される事例が増えています。町では、危険防止のため、中身の見えない二重袋は収集しませんので、ご注意ください。

割れたビン・ガラスなどを出す場合は、新聞紙などで包み、「危険」などと表示して指定袋に入れて出してください。

◇新聞、雑誌、ダンボールはリサイクル回収倉庫へ

新聞、雑誌、ダンボールなどの資源は、できるだけ地域の集団回収や役場・中部コミュニティセンター・白里出張

所に設置してあるリサイクル回収倉庫をご利用ください。

やむを得ず、ごみとして処分する場合は、指定袋に入れて出してください。

◇小枝等の処理

・集積所に出す場合は
太さ5センチ以下で、指定袋に入る長さに切り、乾燥させてから指定袋に入れて出してください。

・粗大ごみとして出す場合は
枯れている物を、長さ50センチ×太さ5センチ以下に合

わせて、直径80センチ以下の束で50円。

▼申込み東金市外三市町環境クリーンセンター
☎5301

・環境クリーンセンターに直接搬入する場合は
枯れている物を、長さ50センチ×太さ5センチ以下に合

わせて直接搬入してください。

在宅介護支援センターだより

※主権者！いつでも健康と暮らしを大切に

今回は、介護保険制度改革のポイントのひとつである、介護予防についてお話しします。厚生労働省は、今回の改革

(10キロ当たり100円。

▼問合せ東金市外三市町環境クリーンセンター
☎9141

大量にある場合は
☎0386

環境問題の改善と交通渋滞の解消に路線バスのご利用を

環境問題の改善と交通渋滞の解消に路線バスのご利用を

自家用車利用から公共交通機関利用への交通移動手段の切り替えは、地球温暖化防止、省エネルギーなどの環境問題の改善に貢献します。また、朝夕の交通渋滞の解消にもつながります。

町内には、住民の方々の生活路線として、路線バス(乗合バス)が運行されていますが、自家用車の普及などの影響で、利用者が減少する傾向にあります。その結果、国等の補助を受け、運行を維持している路線もありますので、



▲駅前に並ぶ路線バス

路線バスの利用をお願いします。
☎0317



を「介護予防システムへの転換」と位置付けています。サービスの低下を避け、被保険者の費用負担を抑えるためには、介護保険の認定対象者を一人でも少なくすることが重要となります。

介護保険制度の基本理念にも、「その人の生活・人生を尊重し、できる限り自立した生活をおくれるように支援すること」とあります。介護保

険対象の半数を占めている「要支援」「要介護」といった軽度要介護者の介護状態の悪化を防ぐとともに、健康

な高齢者が介護保険の対象にならないようにすることを主眼としています。

町でも、65歳以上の方々の

町でも、65歳以上の方々の

専門業者または一般廃棄物収集運搬許可業者に依頼してください。

☎0386



育てる

ADHD(注意欠陥・多動性障害)児との具体的な接し方のコツを簡単に紹介したいと思います。

ADHD児は、さまさまな問題行動で親を悩ませます。子どもも、このようにならいいかわからず、混乱していることがよくあります。

彼らは彼らなりに頑張っているのに、さらされる体験ばかりで、自分を低く評価することが多いのです。それが積み重なると「どうして何やったって駄目なんだ」と思い、大きくなってから反抗的な態度がひどくなったり、非行に走ったりする場合も出てきます。

このようなことを避けるためにも、ぜひ心掛けたいことは、子ども自身に自分の行動を「コントロール」できる力をつけ、「自分でもできる」という気持ちを持つことです。

ポイントは、褒めることを見つけてたくさん褒めることです。そのためにも子どもの行動を具体的に観察し、その場で褒めることです。そして、どんな小さなことでもよい行動を見つけて褒めてあげます。「ちゃんと靴下を履けたね」「けんかしたのをよく我慢したね」など、その場で、具体的に褒めるのが「コツ」です。

ちよつとしたことでも褒めてあげると子どもは、とても嬉しく思い、また認めてくれる人の話は聞こうという姿勢ができてきます。褒められることの少ない子どもは、ひとつのことでも何度も褒めてもらおうと頑張ります。

おもしろいことでも褒めてあげると子どもは、とても嬉しく思い、また認めてくれる人の話は聞こうという姿勢ができてきます。褒められることの少ない子どもは、ひとつのことでも何度も褒めてもらおうと頑張ります。

このように子どもを育てる上での「コツ」は、ADHDでない子どもたちを育てる上でも役に立つと思います。

町教育委員会管理課
エスフォル指導員
☎0072

町教育委員会管理課
エスフォル指導員
☎0072